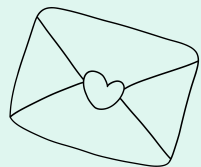


情報セキュリティの重要性／ 近年起こった出来事10選

01



糸島医師会病院：偽のハガキ送りつけ事件

2026年1月5日

- 病院のふりをした偽のハガキが患者さんの自宅に届いた
- 患者さんの住所などが何者かに知られていた可能性がある
- 病院は「捨てずに連絡を」と呼びかけ、現在も調査中

賠償・公表：調査継続中のため、賠償金・補償に関する記載・報道は一切なし。

02



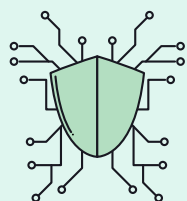
公立つるぎ病院：患者情報が雑誌に載ってしまった

2025年10月16日

- 入院中の患者19名の名前やケア内容が、うっかり医療雑誌に掲載されてしまった
- 「この人が入院している」という事実が外部に広まるリスクが生じた
- 雑誌を回収し、対象の患者さん全員に謝罪した

賠償・公表：謝罪と説明は個別に対面で。賠償金に関する記載・報道はなし。

03



ロンドン大・秋田大：攻撃と内部の不注意が重なった事件2024年～2025年

- ロンドンの病院がサイバー攻撃を受け、治療が遅れて患者が死亡
- 国内でUSBメモリ紛失や、委託職員が患者の情報を私的に使う事件発生
- 「2段階認証なし」「誰でも情報にアクセスできる環境」などが原因

賠償・公表：ロンドン大は約3,270万ポンド（約60億円）賠償。国内事例は謝罪通知のみ

04



大和高田市立病院：捨てるはずの書類が道路に散乱

2024年12月10日

- シュレッダーにかけるはずだった書類を、業者が間違えて古紙回収に出してしまった
- 運搬中に85名分の患者さんの名前などが道路に飛び散った
- 職員が総出で回収し、院外への書類持ち出しを原則禁止にした

賠償・公表：対象患者への書面通知という形で公式に謝罪。賠償金の記載・報道なし

05



長野県立こども病院：看護師がカルテ画面をLINEで送信

2025年4月4日

- 看護師が電子カルテの画面をスマホで撮影し、知人にLINEで送った
- 24名分の患者情報が外部に漏れた（過去には医師の私物PCが盗まれ519名分も流出）
- 該当の看護師は停職処分、警察にも届け出た

賠償・公表：停職処分と警察へ届け出を公表。患者24名への個別対応・賠償金記載なし

参考：Security NEXT



情報セキュリティの重要性／ 近年起こった出来事10選

06



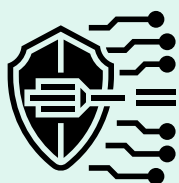
三浦市立病院：医師が患者の電話番号を私的に使用

2025年2月16日

- ・ 診察で知った患者さんの携帯番号を使い、医師が個人のスマホから私的なメッセージを送った
- ・ 患者さんに精神的なダメージを与え、地方公務員法違反として減給処分
- ・ 全職員に「患者情報は仕事以外に使わない」という指導を徹底した

賠償・公表：懲戒処分の内容は公表。被害患者への個別補償・賠償金の記載はなし。

07

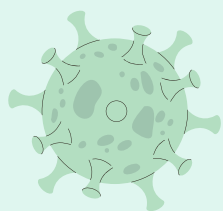


徳島大学病院：外部から検査システムに不正侵入 2025年10月11日～22日

- ・ 病院のシステムに外部から不正にアクセスされ、患者約1.7万人・職員約2千人の情報が漏れた可能性がある
- ・ 調査では実際の流出は確認されなかったが、全員に通知を送った
- ・ 問題のサーバを切断し、2段階認証の導入などを進めた

賠償・公表：金額記載なし。「流出の痕跡は確認されなかった」という調査結果のみ公表

08

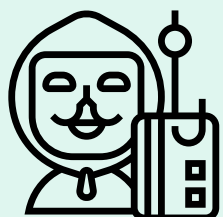


白梅豊岡病院：身代金ウイルスで患者情報がネット上に公開 2026年3月1日

- ・ サイバー攻撃により電子カルテなどが開けなくなり、患者・家族の名前・病名がダークサイト（犯罪者が使う闇サイト）に公開された
- ・ 「不審な電話やメールが来るかも」と関係者に注意を呼びかけた
- ・ 国（厚生労働省）の支援チームが駆けつけ、緊急対応を行った

賠償・公表：金額記載・個別保障の記載なし。犯行の性質上、被害が広く知れ渡った形

09



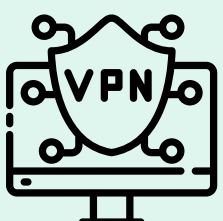
三菱京都病院：委託業者の車上荒らしでPCが盗まれた

2005年12月31日

- ・ 病院の機器を保守するため業者が患者データをコピーした私物PCが、駐車中の車から盗まれた
- ・ 患者1,606人分の名前・住所・電話番号などが入っていた
- ・ 警察に届け出て、対象の患者さん全員に説明と謝罪をした

賠償・公表：金額・個別対応の明示なし。事案の特性上、影響が広範に周知された状況

10



日本医科大学武蔵小杉病院：遠隔接続の穴を突かれ、

2026年1月29日

13万人分の情報が流出（発覚は2月9日）

- ・ 機器を遠隔メンテナンスするためのツール（VPN）から侵入された
- ・ 患者・職員ら約13万人の名前・住所・生年月日などが盗まれ、犯罪者のサイトにも掲載された
- ・ ナースコール一時停止。2段階認証の導入とネットワークの全面見直し

賠償・公表：約13万人への個別通知は実施。攻撃者からの身代金要求152億円は未払い

参考：Security NEXT

